

関係団体への意向調査 質問項目一覧

資料4-2

番号	調査結果反映	項目比較	分類	設 問	回答欄	① 3 師 会	② 市 内 3 病 院	③ 支 援 セ ン タ ー 高 齢 者 生 活	④ 支 援 事 業 所 居 宅 介 護	⑤ 連 絡 会 サ ー ビ ス 事 業 者
1		前々回R2	圏域	事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください（1つに○）。	1. 西山手 2. 東山手 3. 精道 4. 潮見 5. 打出浜	—	—	—	●	—
2		新規	1 権 利 擁 護	（対象団体）の業務の中で、高齢者の権利擁護支援・虐待防止に関する課題はどのようなものがあると感じていますか。	自由記述	●	●	●	●	●
3		前々回R2		在宅における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。	以下の項目ごとに自由記述 ①現在の課題 ②今後、必要と思われる支援体制	●	●	●	●	—
4		新規		身寄りのない高齢者への支援において、課題となっていることは何ですか。 付問1 身寄りのない高齢者への支援において、問○で回答したもののうち、3つまで具体的な課題を教えてください。	次の項目から選択（複数回答可） 1. 緊急連絡先の確保 2. 入院・入所時の保証人 3. 金銭管理 4. 意思決定支援 5. 死後対応 6. 行政・専門機関との連携 7. その他（自由記述）	●	●	●	●	—
5		前々回R2	2 相 談 支 援	地域の診療所や居宅介護支援事業所など、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか。それぞれ1つずつ選んで○を付けてください。	以下の項目ごとに回答 (1)診療所（他医療機関） (2)歯科 (3)薬局 (4)高齢者生活支援センター (5)居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） (6)介護サービス事業所 (7)行政 (8)社会福祉協議会 (9)民生委員・福祉推進委員 (10)その他（ ）	●	●	●	●	●
				付問1 上記の回答の中で、あまり連携は図れていない・まったく連携は図れていないを選択した連携先の、連携できていない理由や課題をお聞かせください（最大3つまで）。	※次の項目から選択 1. 十分に連携が図れている 2. ある程度連携は図れている 3. あまり連携は図れていない 4. まったく連携は図れていない					
6	○	新規		家族介護者を支えていくうえで、特に不足している支援や今後充実が必要と思われるものは何ですか（3つまで）。	1. 気軽に相談できる窓口や継続的な相談支援 2. 夜間・緊急時にも相談できる体制 3. 介護者の心身の負担を軽減するための支援 4. 介護者が休息できるレスパイト支援 5. 認知症の対応方法等に関する助言や学びの機会 6. 介護と仕事を両立するための支援 7. 家族会や介護者同士がつながる機会 8. 介護用品や在宅介護に必要な支援 9. 必要なサービスや制度に関する情報提供 10. 夜間・緊急時にも対応できるサービス体制 11. その他（ ）	●	●	●	●	●

番号	調査結果反映	項目比較	分類	設 問	回答欄	① 3師会	② 市内 3病 院	③ 支 援 セ ン タ ー	④ 高 齢 者 生 活 支 援 事 業 所	⑤ 居 宅 介 護 連 絡 会	サ ー ビ ス 事 業 者
7		新規	3 地 域 で 暮 ら す	介護予防事業を推進していくうえで、特に課題と感ずるものはどれですか（3つまで）。	1. 介護予防の取組が必要な高齢者を早期に把握し、参加につなげることが難しい 2. 介護予防事業の内容や参加方法が高齢者や家族に十分周知されていない 3. 事業に参加したくても、移手段や通いやすさの面で参加しにくい人がいる 4. 介護予防に取り組み続けるための動機づけや継続支援が難しい 5. 地域で介護予防活動を支える人材や担い手が不足している 6. 地域の実情や高齢者の多様な状態に応じた事業内容の充実が難しい 7. その他（ ）	—	—	●	●	—	
8	○	新規		低栄養や口腔機能の低下を早い段階で把握し、必要な支援につなげていくために、特に課題と感ずることは何ですか（3つまで）	1. 本人や家族が食事量や口腔機能の低下に気づきにくい 2. 気づいても、どこに相談すればよいかわかりにくい 3. 医療・歯科・栄養・介護の連携が十分でない 4. 低栄養や口腔機能低下を確認・相談する機会が少ない 5. 配食、栄養相談、口腔ケア等の支援資源が十分でない 6. 通いの場等での予防的な働きかけが十分でない 7. その他（ ）	●	●	●	●	—	
9		前々回R2		要介護者の在宅生活を支えるために必要な地域での支援は、どのような支援だと思えますか。 次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択してください。	1. 24 時間対応の相談体制 2. 介護者同士の家族の会 3. 緊急時の支援体制 4. いつでも誰かと話ができる場所 5. 気軽に声をかけてくれる人 6. 少し困った時に手伝ってくれる人 7. 有償でサービスを提供してくれる団体 8. その他（ ）	●	●	—	●	—	
10		新規		認知症の方への支援について、課題や提案があれば教えてください。	以下の項目ごとに自由記述 ①認知症の方へのケアや支援 ②認知症の方の権利擁護 ③認知症の方を支える家族への支援 ④その他（ ）	●	●	●	●	●	

番号	調査結果反映	項目比較	分類	設 問	回答欄	① 3 師 会	② 市 内 3 病 院	③ 支 援 セ ン タ ー	④ 高 齢 者 生 活 支 援 事 業 所	⑤ 居 宅 介 護 連 絡 会	サ ー ビ ス 事 業 者
11		前々回R2	3 地 域 で 暮 ら す	事業対象者、要支援者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源の充実が必要だと思いますか。次の項目から選択してください（いくつでも可）	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. レスパイトができる場所 11. ショートステイ 12. 24時間体制の見守り 13. 24時間対応で往診可能な医療機関 14. 24時間対応の訪問看護 15. 24時間対応の薬局 16. 専門的な対応が可能な訪問看護ステーション 17. 怪我・病気時の訪問看護、通所・宿泊施設 18. その他（ 19. 特になし	—	—	●	●	—	
12		前々回R2		この半年の間で、利用者のサービス調整に際し、サービスを調整できなかった、または調整が困難だったサービスはありましたか。（あてはまるものすべてに○）	1. 訪問介護（ホームヘルプサービス） 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 通所介護（デイサービス） 6. 通所リハビリテーション（デイケア） 7. 短期入所生活介護 8. 短期入所療養介護 9. 定期巡回・随時対応サービス 10. 夜間対応型訪問介護 11. 認知症対応型通所介護 12. 小規模多機能型居宅介護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 特につなぐのが困難だったサービスはなかった	—	—	●	●	—	
13		新規	4 社 会 参 加	高齢者の生きがいがづくりや社会参加を進めるために、今後、特に充実が必要と考えるものがあれば教えてください。	自由記述	●	●	●	●	●	

番号	調査結果反映	項目比較	分類	設 問	回答欄	① 3 師 会	② 市 内 3 病 院	③ 支 援 セ ン タ ー	④ 高 齢 者 生 活 支 援 事 業 所	⑤ 居 宅 介 護 事 業 者 連 絡 会 サ ー ビ ス 事 業 者
14		前々回R2	5 専 門 機 関 支 援	<p>貴事業所における職員の過不足状況について、次の項目から選択してください。</p> <p>「1. かなり不足している、2. やや不足している」を選んだ理由をお聞かせください。</p> <p>貴事業所で、人材の確保のために取り組んでいることがあればお聞かせください。</p>	<p>1. かなり不足している 2. やや不足している 3. ちょうどよい 4. やや多い 5. かなり多い</p> <p>【不足理由】 1. 費用面で新しい職員を雇用する余裕がない 2. 新人職員の指導や指導のための余裕がない 3. 求人を出しても応募がないため 4. 離職者が多い 5. その他（ ）</p> <p>【人材確保のため取り組んでいること】 自由記述</p>	—	—	●	●	—
15		前々回R2		<p>介護人材の確保にあたり必要と思われるものを、次の項目から選択してください。（いくつでも）</p>	<p>1. 他産業と遜色ない賃金水準 2. ICT活用推進の加速化 3. 業務の効率化・負担軽減及び生産性向上のためのガイドラインの普及 4. 悩み相談窓口の設置、若手職員などの交流推進 5. 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信によるイメージアップ 6. 研修費補助など資格取得等への支援強化 7. 外国人介護人材の積極的な受け入れと雇用の推進（取り組み） 8. その他（ ）</p>	—	—	●	●	—
16		前々回R2		<p>介護支援専門員の業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。次の項目から負担感が高い順に3つ選択してください。</p>	<p>1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意 2. 課題分析のための居宅訪問 3. サービス担当者会議の開催・調整 4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意 5. ケアプランの交付（書類の作成） 6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接 7. 主治医や医療機関との連絡調整 8. 利用者や事業者の苦情対応 9. 要介護認定などの代行申請 10. 介護報酬請求事務 11. 夜間や休日の相談対応 12. 介護支援専門員以外の相談や頼まれごと 13. ケアマネジメントの件数が多い 14. その他（ ）</p>	—	—	●	●	—

